

【パキスタン】

まず、パキスタンの紹介ではパキスタンが議会制民主主義国家であることや、農業が盛んであることが説明されました。パキスタンの社会経済状況では、子供の労働、貧困、性差別、違法ドラッグなど様々な問題がありますが、なかでも重要な課題として平均寿命の低さ、出産時の死亡率の高さなどが挙げられます。パキスタンは、識字率の向上や教育施設の性能向上、教員の質的向上を推進しており、パキスタン・ビジョン 2025 では大幅な拡大と改善を目指しています。

次に、教育機関とその関連機関について図を用いて説明されました。また、識字率に関する 2015 年度調査では 60%と、2014 年の 58%に比べて僅かではあるが増えていました。さらにパキスタンでは、初等教育機関に就学する 5 歳から 9 歳までの子どもの数を 5 歳から 9 歳までの子どもの総数で割ったものが公式の初等教育機関への就学率となっています。グラフでは性別ごとにその割合が示されていますが、教育に関してジェンダーギャップがあることがはっきりと分かります。次に教育方針（1947 年～2009 年まで）とその主な目的が説明され、最後にコロナ禍におけるグローバルパートナーシップ教育について紹介されました。

質疑応答では一人の質問者が、「パキスタンには 3 種類の教育があると言っていたが、そこを卒業してより高いレベルの学校に行く際に、彼らは同じ道をたどるのか、それともそれぞれ違う道に進むのか、その構造が知りたい。」と尋ねました。プレゼンターは「3 つで明らかに違う。」と回答しました。

The screenshot shows a PowerPoint slide with the following content:

LITERACY RATE & ENROLLMENT RATE

- Literacy rate is one of the important indicator of education. Its improvement has a long run impact on other important indicators of national welfare. According to the latest Pakistan Social and Living Standards Measurement (PSLM) Survey 2015, the literacy rate of the population (10 years and above) is 60 percent as compared to 58 percent in 2014.

Fig 18.1: Literacy Rates

Province	2014	2015
Punjab	78	78
Punjab	68	68
Sindh	72	72
ISI	72	72
Balochistan	58	58

- Enrollment Rate at the primary level refers to the number of students enrolled in primary schools of age 5 to 9 years divided by the number of children in the same age group for that level of education in Pakistan the official primary NER as the number of children age 5 to 9 years attending the primary level 1 to 5 divided by the total number of children aged 5 to 9 years.

Fig 18.2: Net Enrollment Rates


Province	2014	2015
Punjab	88	88
Punjab	88	88
Sindh	88	88
ISI	88	88
Balochistan	88	88

Windows taskbar at the bottom shows the time as 10:37 AM on 10/28/2021.

【ブルキナファソ】

ブルキナファソのカントリーレポートと、それに対する質疑応答を行いました。教育のアクセシビリティのため、遠隔での教育の必要性があることが話されていましたが、通信状況の不具合によりコミュニケーションの難しいときもあり、オンライン教育の普及の難しさを実感する研修でした。

ブルキナファソは世界 189 か国のうち 182 番目にあたる発展途上国で、人口増加や貧困の課題があります。教育についても、人口の増加による学校教育へのアクセスの困難さがあり、識字率への課題があります。また、教育の不平等の問題も大きく、学校に行けない貧困家庭の子どもや女兒も多く、都市部と地方での格差も大きいそうです。カリキュラムや教育資源、教育方法の不十分さなどが原因で、教育の質にも課題があります。このような状況があるため、これまでに学校の増設や教育の質の保障、学校へのアクセシビリティの改善のための教育政策などが実施されており、現在、ブルキナファソの教育現場では、3～5 歳の子どもへの教育の提供や、食堂による食料の提供、学生の能力向上をもとにするカリキュラムへの変更、遠隔教育・インクルーシブ教育の普及などの改革が行われています。



The slide features a title box at the top and a list of reforms in a green box below. The title is 'On-going Reforms'. The list includes: '« Free education » to cover pre-school level (3-5 years old children);', 'Canteen reinforcement;', 'Competency-based curriculum reforms;', 'Student-centered pedagogies;', 'Emergency education ;', 'Inclusive school reforms;', 'Distance learning reforms;', and 'Flexible school system between formal and non-formal,'.

このプレゼンの後で、参加者からは、コロナ禍も踏まえてブルキナファソにおいて遠隔教育を実施することの良いところ悪いところは何か、フォーマル教育とノンフォーマル教育を柔軟に行う教育環境によってどのような効果が期待されるのか、などの質問が出ました。通信の問題はありつつも、チャットなどを用いて質問に答えられ、十分な意見交換を行うことができました。